

平成28年度  
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI  
(研究成果の社会還元・普及事業)  
実施報告書

HT28231 あなたは「木を見て森を見ず」か「森を見て木を見ず」か



開催日：平成28年9月11日(日)

実施機関：京都女子大学

(実施場所) (C校舎3階)

実施代表者：箱田 裕司

(所属・職名) (発達教育学部・教授)

受講生：高校生20名

関連URL：[http://www.kyoto-wu.ac.jp/shakai/hirameki/pdf/h28\\_houkokusyo.pdf](http://www.kyoto-wu.ac.jp/shakai/hirameki/pdf/h28_houkokusyo.pdf)

【実施内容】

・プログラムを留意、工夫した点

認知心理学の面白さをわかってもらうために、注意や顔認知の実験・テストを実際にうけてもらった。実験後に丁寧に解説を行い、高校生にも分かるように工夫した。

・当日のスケジュール

13:00～13:30	受付開始
13:30～13:45	開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)
13:45～14:10	ストループ・逆ストループテストの実施(集団)(C308教室)
14:10～14:30	グローバル・ローカル特性の測定(集団)(C308教室)
14:30～15:30	顔と表情認知についての集団実験(C308教室)
15:30～16:00	前記二つの注意課題についての講義
16:00～16:10	質疑応答
16:10～16:40	顔と表情認知実験についての講義
16:40～16:50	質疑応答
16:50～17:10	終了式(アンケート記入、未来博士号授与)
17:10	終了・解散

・実施の様子

箱田が二つの実験(ストループ・逆ストループテストおよびグローバル・ローカル特性の測定実験)の実習を行い、続いて小松が顔と表情認知についての実験を行った。参加した高校生の興味を引き付けられたと思われる。

## 集団実験実習



## 講義(1)



## 講義(2)



### ・事務局との協力体制

- 1) 書類および資料作成、物品購入について、事務担当者とは相談しながら準備を進めた。当日も受付業務、受講生への対応、写真撮影などは協力して実施した。
- 2) 受講生の募集に関する連絡は事務担当者で行い、応募者からの問い合わせや申込み状況などについて定期的に連絡を取り合い、調整を行った。
- 3) 委託費の管理と日本学術振興会との連絡調整は事務担当者が行った。

### ・広報活動

- 1) オープンキャンパス及び進学説明会でチラシを配布した。
- 2) 本学ホームページへの掲載を行った。
- 3) 近隣の高校、教育委員会などにチラシを持参または郵送で案内した。

### ・安全配慮

実験実習そのものは危険な要素はないが、実施協力者、実施分担者総出で立ち会うことにして、予想外の事故に備えた。結果的に何事もなく、無事、実験実習および講義を終えることができた。

### ・今後の発展性、課題

説明のための講義の時間が不十分で参加者が十分理解できたかどうか危惧される。今後は実習を減らして行う必要があると思う。

### 【実施分担者】

広瀬 雄彦 発達教育学・教授

【実施協力者】 4 名

### 【事務担当者】

酒井 桃子 教務部学部事務課・事務職員

佐藤 雅也 学部事務課・研究支援デスク